



## 【ご案内： チャリティ・ワイン 】

～福島の子どもたちをサポート、私たちのできることの一つ～

東日本大震災以来、東京教区と交流してきている「きらきら星ネット<sup>\*註</sup>」から、今年もチャリティ・ワインのご案内がありました。

大震災から6回めのクリスマス、正月を迎えようとしていますが、いまだに避難指示区域以外からの避難を含め10万人近くの方が全国各地で避難生活していると言われます。来年3月、国は避難住宅の無償提供を打ち切り福島県からの避難をすべて終了とする予定です。しかし、原発事故による健康への影響が大きな懸念となっています。各支援団体では、特にこどもの心身の健康維持、回復のための保養プログラムを進めています。今年も皆さんで、こどもたちをサポートしませんか。

**クリスマス&ニューイヤーワイン ・ 今年も自信を持ってお勧めします！**

クリスマスのプレゼントやお正月のお祝いには是非お楽しみください。

**2017年サマープログラムのためのワイン頒布**

豪州イエズス会修道院が建つクレーバレー産の本格ワイン

ワインの収益は、全額《2017年福島の子どものためのリフレッシュ交流プログラム》の交通費などのために使わせていただきます。(保養プログラム)

このプログラムは、原発事故により自主避難している家族、また福島で不安を抱えながら生活している家族の心身の回復を図り、放射能の心配のない環境でのびのびと保養し、楽しい思い出を作れるよう計画しています。2012年より北九州・福岡・広島・長崎の多くの方々に受入れのご協力を得て、子どもたちは夏休みのひと時を過ごすことができました。2016年は、新たに松山市・ゆくはし・富士すそのが保養場所に加わり多くの方が参加しました。来年も引き続き開催できますようご支援をよろしくお願いいたします。

- ・ 赤、白ともに750ml、一本2,000円を目安でお願いいたします。
- ・ 6本以上で送料無料(宅配便でお届け)。詳しくは、**申込みチラシ**をご覧ください。

～ きらきら星ネット&CLC被災地支援デスク企画 きらきら星ネット避難者相談室 ～

◆ お問い合わせ：080-7153-4892 (水曜日12時～17時)

(註1) きらきら星ネットは、東日本大震災や東京電力福島第一原発事故によっておもに東京に避難してきた避難世帯とともに生きていこう、かかわっていこうという思いをもち、実際に行動しようと集まった人たちによる草の根のボランティア団体です。勉強ひろば、ユースによるお出かけ企画、ピアノレッスン、交流サロン、相談や訪問など活動が行われています。 <http://kirakira.jepp.net/?cat=12>  
団体の活動中軸にあるカトリック教会の方を通して聖公会は交流しています。

日本聖公会 東京教区事務所 災害対応デスク

【お願い】 災害対応チームでは、聖公会各教会、また聖公会と交流があり支援活動を続ける諸団体からの情報や要望を伺い、ここに紹介ご案内しています。各教会で、自然災害に伴う被災者支援などにかかわる何等かの活動計画をお持ちの場合、是非ご連絡くださいますようお願いいたします。教区全体・教会間で分かち合えるよう、主催の趣旨や教会のご意向に沿って、教区内へのお知らせ・ご案内をさせていただきます。(例えば、お話しを聴く会、報告会、学びの集い、ボランティア要員の募集、教会施設を用いた交流会など)